

## 基調講演講師プロフィール

【講師：藤山 浩氏】



地域社会を診断し、それぞれの地域社会の可能性、底力、課題を地域住民と行政でしっかり共有し、学び合い磨き合う「共進化」を実現する。そして共通する促進要因や阻害要因を見いだす中で現場発の地域政策形成を主導している。最終的には地域社会の持続可能な長期的設計・運営を提示している取組を実践している。

地元島根県の山間部、離島では人口の社会増を実現する自治体も現れている。

- ◆島根県益田市生まれ、一橋大学経済学部卒業。博士（マネジメント）
- ◆（株）中国・地域づくりセンター等を経て、1998年より島根県中山間地域研究センター勤務、2017年（一社）持続可能な地域社会総合研究所を設立し、所長に就任。
- ◆内閣府「地方創生における中山間地域ワーキング」有識者委員、総務省「『田園回帰』に関する調査研究会」委員など国・県委員多数
- ◆主な著作：「田園回帰1%戦略 地元にと仕事を取り戻す」（農文協）、「世界の田園回帰11カ国の動向と日本の展望」（農文協）ほか

【講師：信岡 良亮氏】



大学卒業後、東京でITベンチャー企業に就職、WEBのディレクターとして働きながら大きすぎる経済の成長の先に幸せな未来があるイメージがわかなくなり、2007年に退社。島根県海士町に移住し、2008年株式会社巡の環を起業、過疎を地方側だけの問題ではなく全ての繋がりの中で解決していくことを目指した。その後（株）アスノオトを創業、都市と農村の新しい関係を創り出す事業を展開している。（都会と田舎が経済活動を通じてどのように繋がっているのかカフェや物産を通して可視化）

- ◆大阪府生まれ。同志社大学商学部卒業。
- ◆東京でのITベンチャー企業勤務を経て、島根県隠岐諸島の海士町へ移住し、2008年株式会社巡の環（めぐりのわ）を共同で起業。6年半の海士町での生活を経て、都市と農村の新たな関係を築くため、2014年5月より東京に活動拠点を移した。
- ◆（株）アスノオトを立ち上げ、大学での講義など情報発信を積極的に行っている。
- ◆共著：「僕たちは島で、未来をみることにした」（木楽社）ほか